

≡≡≡ 保有植物リスト・写真ファイル記入要領 ≡≡≡

ナショナルコレクションの申請には、申請書とともに保有植物に関する情報をまとめた保有植物リストならびに写真を提出していただく必要があります。

保有植物リスト記入要領・記入例

本紙および別紙「保有植物リスト」（エクセル形式）の「保有植物リスト記入例」を参考に、申請するコレクションを構成する種・品種等の情報を「保有植物リスト記入シート」に入力してください。

フォントはメイリオ(12ポイント)を使用し、数字、アルファベット、単位、記号等は半角で入力してください。品種名を括弧シングルクォーテーションマークは、全角表記の品種名は全角で、半角表記の品種名は半角で入力してください。

入力項目

A列	認定番号	コレクションの認定時に日本植物園協会が発行する番号ですので、入力は不要です。
B列	コレクションテーマ	申請書に記載した「コレクションテーマ」を記入します。
C列	コレクション番号	0001からはじまる連番を記入します。品種名等の順番に配慮する必要はありません。
D列	属名	属名を記入します。
E列	形容語 (種小名以下の学名)	野生種、1種から改良された栽培(園芸)品種等、形容語(種小名以下の学名)がある場合は記入します。
F列	品種名	登録の有無にかかわらず、栽培(園芸)品種である場合は‘○○’で括り記入します。
G列	属の日本語表記	本項末尾の「記入に際しての参考文献」等を参考に属の日本名を記入します。
H列	品種名読み	品種名が日本語で表記される場合のみ、国際栽培植物命名規約に従い、修正ヘボン式ローマ字で記入します。
I列	植物名の日本語表記	裏面の「記入に際しての参考文献」等を参考に、種または栽培(園芸)品種の日本語表記を記入します。標準和名がある場合はそれを、標準和名がない植物は学名のラテン語読み、また栽培(園芸)品種の場合は、これに加えて品種名を‘ ’で括り、アルファベット表記の品種はその読みをカタカナで、日本語の場合はそのままの表記とします。名称は慣用的な読みが一般的な植物ではこれを優先します(例:Cymbidiumキンビディウムではなく、シンピジウムを用いる等)。 標準和名がなく、カタカナ表記した属名と種形容語(種小名)との間は「・」(全角中点)でつなぎます。var. やssp. などの形容語の間もそれぞれ省略して「・」(全角中点)でつないで記入します。また、アルファベット表記の品種名の場合、カタカナ表記した単語と単語との間は「・」(全角中点)でつないで記入します。なお、同一品種の表記が申請者によって異なるときは、植物園協会が申請者と協議し、表記を統一します。
J列	特性情報	種・品種の特性で、形態の特徴等の情報があればできるだけ記入してください。
K列	備考(公開は任意)	異名や日本独自の名称、系統名、流通名、商標等の名称に関わる事項、また来歴等の情報があればできるだけ記入してください。公開を基本としますが、希望しないときは、注記のK列をL列と同じように灰色で塗りつぶしてください。
L列	導入元・採取地(非公開)	直接の導入先の名称や住所等を記入してください。それ以前の出発地が明らかでないものについてもできるだけ記入してください。情報は公開されません。
M列	所在地(公開は任意)	コレクションの所在地を記入します。公開を基本としますが、個人所有のコレクション等で公開を希望しないときは、所在地のM列をL列と同じように灰色で塗りつぶしてください。

(裏面に続く)

N列	写真ファイル名 (非公開)	C列コレクション番号と同じ番号を頭に付け、複数の写真がある場合は続けてa,b,c,dと小文字のアルファベットを付けて区別し、さらに、それに続けて属名と形容語(種小名以下の学名)を記入します。属名と形容語をつなぐスペースは省略して半角アンダーバーでつないでください。また、写真が複数ある場合のアルファベットと属名と形容語の各間は半角アンダーバーでつないでください(例:0001a_Primula_sieboldii '青海原')。var. やssp. なども省略して半角アンダーバーでつないでください(0001_Streptocarpus_cyaneus_polackii)。なお、別途用意していただく写真のファイル名は、このN列ファイル名と同一にしてください。
----	---------------	--

なお、ナショナルコレクション認定時に、認定番号が発行されます。この番号と保有植物リストの「コレクション番号」をハイフンで結んだ番号を「コレクションデータ管理番号」とし、それぞれの種、品種、個体等の情報が管理されます。

記入に際しての参考文献

- ◎International Code of Nomenclature for algae, fungi, and plants 2018
(<https://www.iapt-taxon.org/nomen/main.php>)
- ◎International Code for the Nomenclature for Cultivated Plants 9th Edition
(https://www.ishs.org/sites/default/files/static/ScriptaHorticulturae_18.pdf)
- ◎国際藻類・菌類・植物命名規約(深圳規約)日本語版 2018(日本植物分類学会 国際命名規約邦訳委員会訳・編集、北隆館、2019)
- ◎国際栽培植物命名規約(国際園芸学会、アボック社、2008)
- ◎YList (<http://ylist.info/index.html>)
- ◎日本花名鑑4(安藤敏夫・小笠原亮・長岡求、アボック社、2007)
- ◎新日本維管束植物分類表(米倉浩司、北隆館、2019)
- ◎園芸植物大事典(1~6巻、小学館、1988~1990)
- ◎植物分類表(大場秀章、アボック社、2009)
- ◎A-Z園芸植物百科事典(誠文堂新光社、2003)

写真ファイルの作成

- 写真は、申請時にすべてのコレクションのものが揃っていることが望ましいのですが、それが難しいときは、少なくとも全体の20%以上の写真を提出してください。残りの写真は、認定後1年以内に提出してください。
- 写真はできるだけ横位置とし、デジタルデータの場合、横幅を800ピクセルに縮小して提出してください。縦は、横縦比が4:3の写真では600ピクセル、3:2の写真では533ピクセルとなります。縦位置の写真は長辺を800ピクセルとし、その他の形状の写真の場合は横縦比をこれに合わせてください。
- ファイル名は「保有植物リスト」の「写真ファイル名」(エクセルN列)とします。
- 写真データは、コレクションテーマの名称のフォルダにまとめてください。

修正へボン式ローマ字表記一覧

カナ文字・ローマ字対照表										備考
ア	a	イ	i	ウ	u	エ	e	オ	o	
カ	ka	キ	ki	ク	ku	ケ	ke	コ	ko	
サ	sa	シ	shi	ス	su	セ	se	ソ	so	シ(shi)としない
タ	ta	チ	chi	ツ	tsu	テ	te	ト	to	チ(ti)、ツ(tu)としない
ツァ	tsa									
ナ	na	ニ	ni	ヌ	nu	ネ	ne	ノ	no	
ハ	ha	ヒ	hi	フ	fu	ヘ	he	ホ	ho	フ(hu)としない
マ	ma	ミ	mi	ム	mu	メ	me	モ	mo	
ヤ	ya			ユ	yu			ヨ	yo	
ラ	ra	リ	ri	ル	ru	レ	re	ロ	ro	
ワ	wa							ヲ	wo	
								ン	n	撥音については次ページ注釈参照
ガ	ga	ギ	gi	グ	gu	ゲ	ge	ゴ	go	
ザ	za	ジ	ji	ズ	zu	ゼ	ze	ゾ	zo	ジ(ji)としない
ダ	da	ヂ	ji	ヅ	zu	デ	de	ド	do	ヂ(di)、ヅ(du)としない

バ	ba	ビ	bi	ブ	bu	ベ	be	ボ	bo	
パ	pa	ピ	pi	プ	pu	ペ	pe	ポ	po	
キャ	kya			キュ	kyu			キョ	kyo	
シャ	sha			シュ	shu			ショ	sho	「sya, syu, syo」としない
チャ	cha			チュ	chu			チョ	cho	「tya, tyu, tyo」としない
ニャ	nya			ニュ	nyu			ニョ	nyo	
ヒャ	hya			ヒュ	hyu			ヒョ	hyo	
ミャ	mya			ミュ	myu			ミョ	myo	
リャ	rya			リュ	ryu			リョ	ryo	
ギャ	gya			ギュ	gyu			ギョ	gyo	
ジャ	ja			ジュ	ju			ジョ	jo	「zya, zyu, zyo」、『jya, jyu, jyo』(誤綴)としない
ヂャ	ja			ヂュ	ju			ヂョ	jo	「zya, zyu, zyo」、『jya, jyu, jyo』(誤綴)としない
ビャ	bya			ビュ	byu			ビョ	byo	
ピャ	pya			ピュ	pyu			ピョ	pyo	

注1 **長音** … 母音の上に長音符(macron)をつける。Ā, Ī, Ū, Ē, Ō, ā, ī, ū, ē, ō例
 /Tokyo[東京]、Tōkyō、Toukyouと綴らない。

注2 **撥音** … すべて「n」で表す。「b」、「m」、「p」の前でも「m」を使わない。
 また、母音とヤ行音の前では読み誤りを防ぐため、「ㄱ」で音節を区切る場合もある。
 例/Sen' in[船員]は、「ㄱ」がないと「せんじん」とも読める。
 例/Kon' yaku[婚約]は、「ㄱ」がないと「こにやく」とも読める。

注3 **促音** … 子音を重ねる。
 例/kokkai[国会]、otottsān[おとつあん]。
 「チ」(chi)音の場合は「c」を重ねずに「t」を使う。
 例: shutchō[出張]